

## ご案内

### 七夕祈願祭★★★

日時:平成 29 年 7 月 7 日(金)

夜 7 時～

津観音寺 津市大門 32-19

短冊を用意しています。

「道の駅津かわげ」で  
短冊に願いを集めて  
います。7月始めの土日



## 寺社ちよつとい話 福祿寿霊場

### ■『結城神社の亀のお墓』

宮崎吉史(津市 結城神社宮司代務者)

皆様は鼈(ひいき)という伝説上の動物をご存じですか?ご存じない方の為に説明しようと思いましたが、その前に少しだけ結城神社の社殿西側に鎮座する、結城神社の主祭神であられる結城宗廣(むねひろ)公のお墓について説明します。



このお墓はもともと塚の上にお地藏さんが六体安置してあり、地元の方々に「結城塚」或は「入道塚」と称されておりました。文政七年(一八二四年)に伊勢津藩第十代藩主、藤堂高兌(たかさわ)公が宗廣公の忠徳を慕い自ら台座の上に「結城神君之墓」と染筆し、湊川神社に鎮座する楠木正成(まさしげ)公の碑に倣って墳墓を修理し、地藏を台石に埋め、石柵を設け墓碑を建てたお墓であります。地元の方には「亀のお墓」「ゆうきさんのお墓」と親

しまれ、拝殿でのお参りに併せてお参りくださる方も大勢います。

なぜ突然神社のお墓の説明をしたのかと疑問に思った方も多いと思いますが、実はこの台座の上に鎮座する亀に似た動物こそ「鼈(ひいき)」なのです。「鼈(ひいき)」は伝説によると、龍が生んだ九頭の神獣のひとつであり、重きを負うことを好むといわれ、そのために古来より石柱や石碑の土台の装飾に用いられることが多い神獣であります。諺「鼈(ひいき)の引き倒し」とは、「ある者を鼈(ひいき)しすぎると、かえってその者を不利にする」という意味の諺ですが、その由来は、柱の土台である鼈(ひいき)を引っぱると柱が倒れるからです。

また、「鼈(ひいき)」を古くは「鼈(ひいき)」と書きました。「鼈(ひいき)」は「貝」が三つで、これは財貨が多くあることを表したもので、「厩」はその「鼈(ひいき)」を「尸」の下に置いたもので、財貨を多く抱えることを表したものであります。

神社やお寺にはこの様に、何気なく見ていたものに実は深い意味が込められたものが沢山あります。皆様も今後神社やお寺にお参りする際は、色々なものを今まで以上に注意深く観るようになってみてはいかがでしょうか。きっと新しい発見が沢山あると思います。



結城宗廣公のお墓

## 報告

### ■「大和七福八宝めぐり」視察のたびに参加して 事務局・K.K.

4月27日(木)お天気を気に掛けながら、昨年  
に続いて3回目となる「大和七福八宝めぐり」の視  
察に参加させて頂きました。

朝8時に津を出発して、まず最初に中將姫の伝説  
で名高い当麻寺へ。「導き観音菩薩」「布袋尊」にお  
参りして「当麻曼荼羅」についてのお話や極楽浄土  
のような花いっぱいの美しい庭  
園を鑑賞させて頂き、精進料理を  
頂きました。

次に駐車場から社殿まで、石段  
を下ったり上ったり、ひたすら石  
段と戦いながら、大化の改新につ  
ながる話し合いがされたという  
1400年前の歴史に思いを馳せ、  
談山神社に「福祿寿様」を訪ね、  
十三重の塔を見上げました。



福祿寿

最後に牡丹の花を期待しながら長谷寺に「大黒  
天」をお参りし、また舞台からは美しい新緑を堪能  
しました。そして「大和七福八宝めぐり」は今回め  
でたく満願。これからも一層元気で過ごせそうなパ  
ワーを頂きました。

この三回の視察の旅は、私達の「伊勢の津七福神」  
の今後の活動の参考にと企画されました。が、「大  
和七福八宝」は有名寺社で構成され規模が大きく私  
達とは随分違いますが・・・それぞれに長所短所  
のある事が分かりました。まずは私達の場合、アット  
ホームな七福神として、お参り頂いた方々が喜んで  
くださるような心からのおもてなしをする、またそ  
うするように心掛けて行く事が、何より大切である  
事を再認識しました。今後も機会があれば色々な所  
に出向き、みんなで研鑽を重ねていきたいと思いま  
した。

はいく日和 <大和の旅> 池上えつみ

- 和傘差す牡丹紅し当麻寺
- 濃山吹大化の香り談山(かたりやま)
- 白牡丹朱印のかすれ登廊(のぼりろう)

## 寄稿

### ■日本人の祈り 家古谷光現 (広島県尾道市 長福寺)

人は昔より祈り続けてきました。無常の世の中で  
祈らずにはおられなかったことと、祈ることによっ  
て平安が得られてきたからでしょう。

しかし、現代に至って、少しその祈りが揺らいで  
います。人間に大自然に対する謙虚さが薄くなって  
きたからでしょうか？

そもそも、日本の国の始まりは、聖  
徳太子の十七条の憲法の制定にあると  
いってよいでしょう。推古帝十二年  
(604年)四月三日、群臣を斑鳩宮に  
召集して、太子みずから草案を示されたものです。  
一に曰く、和を以て貴しとなし忤(さから)うこ  
と無きを宗とせよ・・・・。二に曰く篤(あつ)く  
三宝を敬え。三宝とは仏と法と僧となり、則ち四生  
(生命あるべき)の最後のよりどころであり、すべ  
ての国の規範であると。こうして和を尊重し、三宝  
を敬うという祈りが、日本人の心に深く刻み込まれ、  
育まれてきたのです。



究極は、ご飯・お汁・お水などのものにまで尊敬  
語を付して呼ぶという日本人にとっては当然のこと  
ば遣いです。日本人にとって総ての存在が祈りの  
対象になっているのです。他の国にこうしたものに  
まで大切にするような言葉があったでしょうか？

人は自分の力の及ばないところを祈ることで埋  
めて来たことを、今一度気づきたいものです。

2718名

6月4日現在 七福神参拝者数

《伊勢の津七福神友の会事務局》

〒514-0033 津市丸之内 27-16 高山神社内

電話：059-225-8558



編集後記：ご意見、原稿お寄せ下さい。

七夕祈願祭の季節がやってきました。今年の願いはやっ  
ぱり身体健全でしょうか。池上 kanon@nifty.com